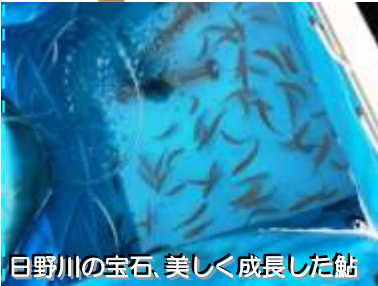


水道事業と環境保全について、みんなでたのしく考えましょう！

第2回水道☆環境フェスタ in Yonago

11
報
道



日野川の宝石、美しく成長した鮎

令和元年6月2日(日)午前10時から水道局庁舎で水道週間協賛イベントを開催しました。昨年に続き第2回水道☆環境フェスタとしてご案内したところ、約300人のお客さまに来局いただきました。昨年の来客が400人近くあったのに比べてやや少なめの人数ですが、美保基地航空祭と重なったことが大きく影響したものと思われます。ともあれ「手作り☆安価☆楽しく」をモットーに企画、運営しているこのイベント。豊富な地下水を利用する米子の水道にとって環境保全は重要なテーマ。水道と環境をPRする当日の様子をご紹介します。

環境に思いをはせていただきたいと管理者あいさつ

早いお客さまは9時過ぎにはお越しになり、あゆも教室も全部参加したいとの強い意気込みが伝わります。9時半頃から続々と親子連れが来局されましたが昨年の勢いに比べると、やや少なめかと感じました。昨年の教訓からあゆのつかみどりと科学実験教室に2種類整理券を用意し、整然と受付を進めることができました。開始時刻の10時、放流前のプール前にお集まりの皆さんに細川水道事業管理者から、水道週間行事を通じて、ふるさとの豊かな自然環境に思いをはせていただきたいとのごあいさつをお伝えし、イベント開始です。



参加者を前にごあいさつする細川管理者

鮎つかみどり参加は小学生以下限定、幼児専用プールも好評



大好評の幼児専用プール

日野川水系漁協さんのご協力で準備したあゆは、数に限りがあるためつかみどり参加は小学生以下限定とし、整理券の番号順に1ターソ20人、1人5匹ずつ、鮎は家の水槽では飼えないのでおいしく食べてあげてとアナウンスしてスタート。いざ始まると子供たちの歓声があちこちから聞こえます。昨年は希望者が一気に押し寄せ15分で鮎が完売したため、今年は漁協さんに様子をみながら放流していただき、1時間の間にのべ122人も小学生につかみどりを楽しんでいただきました。

また、小学生未満の幼児専用プールを別に設けたところ、約30人のお子さんにあゆと一緒に水遊びを楽しんでいただきました。なかには鮎と一緒に這い泳ぎをする子も。ほぼ水浴び場といった状況でしたが、お兄さんお姉さんとぶつかる心配もなく、ゆったり楽しめると大好評でした。日野川の風物詩に例えられる鮎、その人気ぶりを実感したひと時でした。

災害時を想定し、管破損漏水の応急修繕工事を職員が実演

「緊急修繕を実演コーナー」では、水道管の破損事故を想定して、天井より高く噴き上がる漏水の応急修繕を実演しました。水しぶきが飛ぶたびにお子さん達の歓声があがり、中には自分から水を浴びに来る(笑)お子さんもチラホラ。ベテラン職員が手際よく止水作業を進めると、会場から拍手が沸き起こりました。続いて災害時に活躍する背中に背負えるタイプの6L飲料水袋の説明も行ったところ、お客さまからの反応も上々で、手応えを感じた修繕実演となりました。昨年7月西日本豪雨災害でも被災地で活躍した給水車や災害対応のパネル展示を通じて、公益社団法人日本水道協会に加盟する全国の水道局は広域に及ぶ水道施設被害に備え、相互応援協定を結んでいることもPRしました。平成12年鳥取県西部地震では被災都市となり多くの支援をいただいた体験を風化させないためにも、水道局では平常時の防災訓練はもとより、東日本大震災、熊本地震、鳥取県中部地震等、頻発する広域災害時に給水支援、復旧支援活動に職員を派遣してきました。



迫力の出っぱなし修繕！
水しぶきに歓声があがる会場

災害に強い水道を目指します！

水道局では「命の水」をお届けするという強い思いを持って日頃から様々な活動を行っています。このイベントを通じ、災害・危機管理にも重点を置き、強靱な水道を目指した事業運営をご理解いただければと思います。

わくわく!科学実験教室で、「学ぶ楽しさ」をお伝えしたい

かぶりつきで化学反応に注目



学ぶ楽しさが伝わったかな?

水道局の戸上水源地区内に水質管理課という部署があり、主に水質検査を担当する化学専門の職員が勤務しています。この水質管理課が監修した小学校中高学年以上向け企画が「わくわく！科学実験教室」です。昨年はお客さんが廊下に溢れるほどに盛況だったため今年は広い大会議室を会場にしました。試薬で色が変化したり、化学反応で電流が流れたりといった解りやすい実験を中心にメニューを工夫し、今回は親子13組、約40人にご参加いただきました。お子さんたちの好奇心に満ちた熱い眼差しに触れるとき「学ぶ楽しさ」を少しでもお伝えできたとしたらこれほど嬉しいことはありません。全国的にもおいしいと評判の米子市の水道。おいしいヒミツを科学的視点でわかりやすくご説明するコンセプトのこの教室、次回開催に向けさらに「わくわく！」度を磨きあげていきたいと思っていますので、ぜひお子さんやお知り合いにご紹介いただき、多数ご参加いただきますようご案内いたします。

日野川の源流と流域を守る会とのコラボで環境保全をPR

玄関付近のパネル展示コーナーでは今回も「日野川の源流と流域を守る会」にご参加いただき、フォトコンテスト入賞作品の展示や資料、缶バッジ配布などを通じて環境保全啓発をPRしました。また、昨年に続きこのイベントを同会の「森と水に親しむ活動支援事業」として助成金交付決定をいただいております。今回も見事な鮎を安価にご提供いただいた日野川水系漁協さんをはじめ流域諸団体のご協力にこの紙面をお借りして改めて厚くお礼申し上げます。今後とも、大山や日野川流域のみなさんと一丸となって、美しく豊かなふるさとの環境保全啓発を進めていかなければならないとの思いを新たにしました。



正面玄関の受付付近、「守る会」と共同でPR



お子さんたちにひっぱりダコのゆるキャラ班

お子さまとふれあうゆるキャラ班!

米子市・ゆるキャラといえばヨネギーズですが水道局にオリジナルキャラクターがいることをみなさんご存知でしょうか? 左の青いエア着ぐるみ、その名は「パッキン☆マン」、蛇口のパッキン早替えが得意技です。普段は現場作業で忙しいのですが、小学生の社会科見学になると必ず手伝いに現れるナイスガイです。さらに左の青マントは江府町から応援に来てくれた「パイロットマン」。この2人(?)と日南町オッサンショウオは「日野川源流大使」に任命されている仲間です。小っちゃいおともだちのハートをしっかりキャッチし大活躍でした。

親しみやすく環境保全の啓発に努めます

今回のイベントをアンケートから振り返ってみると、あゆつかみどりの参加はやはり地元車尾小が4割を占めましたが、境港も含め市内他校からも広くお越しいただいていることがわかりました。イベント周知方法も、水道局ホームページや米子市LINEを見て来られた人もおられました。ご家族やご友人の口コミが最も多かったです。つかみどりも科学教室も参加者の満足度が高く、ぜひ来年もやってほしいとのご意見を多くいただくことができ、大変心強く感じました。

水道局の使命は、安心・安全な水道を安定して供給し続けることに尽きますが、豊かな自然を守り環境保全を進めること、わかりやすくご説明することも重要な課題です。地下水を利用した水道の仕組みをご紹介するため十年程前に製作した「なっとくよなこの水マシ〜ン」(右の写真)も今回のイベントを機に前面の案内看板や新配水池を新調してプチリニューアルを図るなど、親しみやすい広報を心がけてまいります。水道週間は毎年6月1日から7日まで。来年のカレンダーを見ると6月7日が日曜ですので、およそ1年をかけ3回目に向けて準備を進めたいと思います。お気づきの点などございましたら、お気軽にご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

